

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2021年 第176号 令和2年12月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事 JAXA勝浦宇宙通信所と市議会



特集記事	2・3P
審議結果・トピックス	4～6P
委員会活動等	7・8P
一般質問	8～11P
きみの未来、あなたの未来	12P
議会のうごき 編集後記	

令和3年2月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

JAXA 勝浦宇宙通信所 と 市議会

特集記事第23回は、JAXA勝浦宇宙通信所のみなさんに、新型コロナウイルス感染症防止のため、対談形式ではなく、書面質問をさせていただきました。



宇宙技術開発株式会社
勝浦出張所 中敷 健司所長



前田 啓吾さん



飯島 弥生さん

宇宙とつながるまち

勝浦！

【勝浦の第一印象は？お気に入りがありますか？】

●都市部へも気軽に行き来できる距離なのに、自然を満喫できるところが気に入っています。のんびりとした里山の田園やきれいな海の風景はとても癒されます。（前田）

●自然の豊かさが素晴らしいと思います。休日は、透明度抜群の海でのサーフィンや、海沿いのハイキングコースの散策などを楽しんでいます。（飯島）

●勝浦市のマスコットキャラクターの「カッピー」可愛いですね。実は勝浦宇宙通信所にも「カッキーくん」というキャラクターがいます。宇宙飛行士にあこがれて勝浦の海から通信所にやってきたカツオの男の子です。（飯島）

【どんな仕事をしていますか？力をいれている活動は？】

●勝浦宇宙通信所では、人工衛星の追跡管制に必要な不可欠なアンテナ設

備を含む追跡管制設備の運用を行っています。追跡管制設備の運用は、筑波宇宙センターから遠隔で実施するため、筑波と勝浦、また国内のその他の宇宙通信所（沖縄県恩納村にある沖縄宇宙通信所や鹿児島県種子島にある増田宇宙通信所）との間で多岐に亘る調整や確認作業などの業務を行います。また、勝浦宇宙通信所には4つの大きなパラボラアンテナがありますが、それらは宇宙にいる人工衛星と繋がるためのとても重要なものです。パラボラアンテ

ナに異常がないか、正しく機能しているかなどのメンテナンスを日々行っています。(前田)

●勝浦宇宙通信所で広報業務を担当しています。JAXAや勝浦宇宙通信所について広く知っていただけるよう、イベントの企画実施や展示室の管理運営等です。2020年度は、新型コロナウイルス拡大防止のため、毎年開催している施設一般公開も中止となっていました。が、終息した際には、また沢山の方に来場いただき、「宇宙開発」に触れていただきたいと思います。(飯島)

【嬉しかったことや困ったこと、これからの抱負は?】

●来場者から「展示室を見学して宇宙に興味を持ちました」と言っていたいた時や、小学生が「将来は宇宙に関する仕事をやりたい」など、目をキラキラさせて夢を語ってくれた時は本当に嬉しいですね。もっとたくさんの方に宇宙開発について伝えていき、興味を持っていただきたいと思います。(飯島)

●人工衛星との通信を行うための設備

維持は、24時間365日続きます。そのため、設備で不具合が発生した際は、夜中であっても、お正月であっても対応する必要がありますが大変ですが、設備の修理が終わって人工衛星との通信を再開できた時などはとても嬉しいです。(前田)

【勝浦市がどのようなまちになってほしいと思いますか?】

●今の勝浦のすばらしい自然を残していつてほしいです。特に夜は満天の星空を見ることができ、人工衛星や「きぼう」日本実験棟／国際宇宙ステーション(ISS)の観測もしやすいです。勝浦宇宙通信所の業務である人工衛星の追跡管制は、宇宙と地上を繋げる唯一の重要な手段ですが、「宇宙とつながるまち」として、すばらしい自然の下、市民の皆様にも宇宙を身近なものとして感じていただきたいと思います。そして、「勝浦市から宇宙飛行士を!」をいつか実現したいですね。(中数)

【市民に「伝えたい」「呼びかけたい」ことはありますか?】

●勝浦市にJAXAの施設があることをご存じない方が、まだまだいらっしゃいます。もっと沢山の方に知っていただき、宇宙の不思議や楽しさ、そして宇宙開発の可能性など勝浦宇宙通信所を通して伝えていきたいです。勝浦宇宙通信所にある直径20メートルのパラボラアンテナはとても迫力があり、宇宙との繋がりを感じていただくことができると思います。是非直接見に来ていただきたいと思いますね。(中数)

宇宙に飛び出せ!



カッキーくん

令和２年１２月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○１２月定例会 会期 １２月７日から１２月１７日まで１１日間

審議案件一覧

◎全会一致 ○賛成多数 ×賛成少数

議案番号	件 名	付託委員会	結 果
議案第72号	勝浦市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決◎
議案第73号	勝浦市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決◎
議案第74号	令和２年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教	可決◎
議案第75号	令和２年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第76号	令和２年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第77号	令和２年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第78号	令和２年度勝浦市水道事業会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第79号	勝浦市と御宿町における学校給食事務の委託について	総務文教	可決◎
議案第80号	令和２年度勝浦市一般会計補正予算		可決○

議員提出議案

発議案第８号	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について		可決◎
--------	----------------------------	--	-----

議会報では、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

●トピックス その1

来年4月から行政組織の一部が改編されます。

●議案第72号 勝浦市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

1. 企画課情報管理係を情報システム係とし総務課に移管
※観光商工課の所掌事務である統計部門については企画課政策推進係の所掌事務となる
2. 都市建設課の所掌事務に「港湾に関すること」が加わる

●トピックス その2

令和3年2月13日(土)に、かつうらシンポジウムを開催

議会最終日の12月17日にシンポジウム開催事業補助金(50万円)を含む追加補正予算が計上されました。

かつうらシンポジウムの開催趣旨

中国武漢市からの帰国者受け入れから1年を迎える時期に、この出来事を振り返り、関係者が集い、「共助の心」を感染症防止や街づくりの礎として醸成・継承することを目的に開催する。

主 催：勝浦シンポジウム実行委員会(観光協会代表、商工会代表、勝浦ホテル三日月代表、市長、市課長4名)

開催日：令和3年2月13日(土) ※1年前の同日、武漢からの帰国者がホテルから帰った日。

予算審査の過程で、多くの議員から開催趣旨等に対する質疑があり、討論を経て採決され賛成多数で可決

反対討論：シンポジウム開催の趣旨を理解できないことはないが、何故、最終日に予算計上したのか。感染者の増加傾向にあるコロナ禍の中で2か月後の2月に開催するということは理解できない。

2月13日という日にこだわるのであれば、令和4年に行えばよい。

賛成討論：開催趣旨を理解し賛成するが、コロナの状況に留意し、一人の感染者も出さない万全な防止対策を講じ、場合によっては日時の変更、リモートや無観客開催等柔軟に対応してもらいたい。

※緊急事態宣言により2月13日の開催は延期となりました。



●トピックス その3

来年4月から御宿町の小中学校にも給食が提供されます。

●議案第79号 勝浦市と御宿町における学校給食事務の委託について

概 要

御宿町立御宿中学校、御宿小学校の2校分の調理業務、輸送業務、給食用物資の調達業務を勝浦市が受託。

勝浦市学校給食共同調理場の最大提供食数は1700食であり、令和3年度の提供予定食数は勝浦市分（小中学校・保育所）で1002食、御宿町分で273食、合計1275食の予定。



●トピックス その4

長期欠席した議員の報酬を減額、刑事事件により逮捕、勾留された議員の報酬を支給停止する特例条例を制定しました。

●発議案第8号 議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について

議員報酬及び議員の期末手当に係る支給額については、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例で定められていますが、疾病その他の事由により、長期間市議会の会議を欠席することを余儀なくされた議員が議員報酬や期末手当を辞退または返還することは、公職選挙法に規定される寄附行為に該当するため禁止されています。

条例で定められた会議等について180日以上長期欠席する場合に、その日数に応じて議員報酬や期末手当を減額支給します。（ただし、公務上の災害等適用除外を定めています。）

相次ぐ地方議会の不祥事を重く受け止め、議員が自ら襟を正し範を示すべく、議員が逮捕・勾留等された場合には議員報酬や期末手当の支給を停止し、起訴・有罪となったときには支給を行わないよう特例を定めました。

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

- ・ 議案第72号 勝浦市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第74号 令和2年度勝浦市一般会計補正予算
- ・ 議案第79号 勝浦市と御宿町における学校給食事務の委託について

以上3件について、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

※審査の過程において各委員から、一般会計補正予算については、(仮称)かつうら海中公園再生計画事業について質疑が集中しました。

(主な質疑)

Q 議会に対しては詳細な計画書を提出していただきたい。

A 今後、議会に対しては、詳細な説明をしていきたい。

Q 本事業が予定している4億円の事業費について、精査が足りないのではないか、地元負担分の2億円について歳入の裏付けが取れているのか。

A 事業費の4億円は、あくまで上限である。地元負担分としては、一般財源として市債と企業版ふるさと納税を活用し、総事業費における地元負担分は36.5%、約1億4千6百万円を想定、地元負担分の軽減を図るために企業版ふるさと納税を推進したい。

Q 4億円の事業費は、駐車場整備は含まれず無料休憩所建屋のみ改築の予算とあるが、建屋位置の再検討や、津波避難所の検討など事業の精査が必要ではないか。

A 収益を上げられる施設を造るべくこの事業を進めたい。

※賛成討論において、事業には賛意を表するが、勝浦市まちひとしごと創生総合戦略、勝浦市観光基本計画への当該事業の記載を条件としたい旨発言がありました。

【現地視察の様子】

審査に先立ち事業計画地の現地視察を実施しました。



産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会には、議案第73号の条例制定、第75号～78号「国民健康保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」「介護保険特別会計」「水道事業会計」の補正予算の計5件が付託され、12月15日に委員会を開催し、付託事件について審議を行った結果、いずれも全員賛成で「可決」されました。

最終日の本会議において、産業厚生委員長からの審議結果報告後、裁決を行い、付託された5件の議案は、委員長報告のとおり「可決」となりました。

勝浦市議会表彰受賞者決定

令和2年12月17日に、勝浦市議会表彰選考委員会を開催し、後期分（令和2年7月1日から11月30日の期間）の市内小中学校の児童・生徒を対象とした受賞候補者を学校より推薦していただき、選考審査をした結果、表彰者が決定しました。

なお、表彰授賞式につきましては、令和3年3月定例会の初日に、市役所5階の議場において例年行われますが、1月の緊急事態宣言の発令により、3月2日の定例会終了後に学校に訪問して行うことに変更しました。

- 1 被表彰者** 興津小学校1年生 鈴木 智士さん
表彰基準 「令和2年度千葉県愛鳥週間ポスターコンクール」
 優秀賞（県知事賞）
- 2 被表彰者** 興津小学校4年生 大野 一葉さん
表彰基準 「令和2年度千葉県愛鳥週間ポスターコンクール」
 優秀賞（県知事賞）



一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。
 また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。

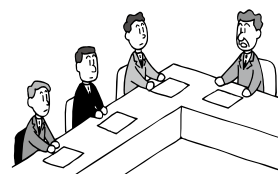
12月10日	
寺尾 重雄 議員	渡辺ヒロ子 議員
② 勝浦市が携わる工事請負契約及び委託契約について	① 朝市活性化における検討課題の進捗状況について ② 市内観光の活性化と整備について
① ふるさと納税について	

12月9日			
戸坂 健一 議員	佐藤 啓史 議員	鈴木 克己 議員	久我 恵子 議員
② 藻場の保全と食害対策について	① コロナ禍における現役世代・氷河期世代支援について ② 地域おこし協力隊について	② コロナ禍での市民生活への直接的な対応について ① 国道及び市道等道路基盤の整備について	② 感染症予防接種について ① 国保データベースの活用について

12月9日・10日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。



市政の「目」が聞きたい





久我恵子議員

感染症予防接種について

Q 13歳未満の子どもの

インフルエンザ予防接種は、抗体の上昇を確実にするため、毎年2回の接種が必要とされている。

しかし費用の負担額が大きい等の理由で、1回のみ、あるいは接種自体を見合わせる場合があると聞く。近隣市町では、既に費用の一部助成がされているが、勝浦市においては助成がされていない。市長の公約には、予防接種の無償化があった。子育て世帯の負担軽減の面からも、インフルエンザ予防接種費用の無償化、あるいは、一部助成が必要である。市の考えをお聞きする。

A 毎年2回のインフル

エンザ予防接種費用が、子育て世帯に重い負担となっていることは承知している。負担軽減のため、助成は必要と考える。費用の一部助成について検討する。

Q 検討でなく、次の予算に組み込む考えはないのかお聞きする。

A 地域の宝である子ども

もの育成に対する直接的な支援は必要と考える。今一度、歳出を見直しながら、財源を捻出し、実施に向けて準備する。

国保データベースの活用について

Q 国保データベースの

活用は市民の健康課題を洗い出し、病気や、フレイル状態を早期発見し、受診勧奨や保健指導を的確に行うために有効である。しかし、国保データベースの情報を整理・分

析する部署や人材の育成

がされていない。本市において専門部署の設置や専門人材の育成について進捗状況をお聞きする。

A 12月1日に市民課と

高齢者支援課を中心に庁内検討委員会を立ち上げ議論をスタートさせた。今後、組織や事務の分担、展開する事業の内容等について精査していく。

人材の育成については、専門性が高いことから、検討委員会の中で保健師や、栄養士、担当職員等で議論し、育成に向けて議論していく。



鈴木克己議員

県道及び市道等道路基盤の整備について

Q 松野バイパス一部開

通後の事業進捗状況と今後の事業推進は如何か。

A 用地取得率は概ね

30%。バイパス全線早期開通について、継続した要望活動を強く展開する。

Q 「市道勝浦荒川線」

のかつうら聖苑から沢山トンネル付近は、以前から危険箇所（写真）と指摘しており、早急に改善すべき箇所である。さらに南山田、荒川地先の路面は、劣化損傷が激しいため優先的な改修を求めますが対応は。

A 道路改良が必要であると認識します。一部区間は今年度修繕

し、今後は、交付金を

活用し計画的に対応します。

Q 以前にも指摘した

が「市道新坂沢倉線」のキヌステから武道大学間の道路整備は、側溝の一部にグレーチングを設置したのみで何ら対応が見られない。今後の対応策について伺う。

A 歩行者の安全対策を

踏まえ、検討します。

コロナ禍での市民生活への直接的な対応について

Q 水道料金は、10月か

ら3月までは、基本料金を半額としたが、令和3年度においても、公約である水道料金引き下げを市民は期待している。市長の考えは。

A 水道事業会計が厳しいため、引き下げは難しい状況です。

Q 学校給食費の来年度

以降の対応は。

A 無償化については、中学生を対象に始めようと考えている。

Q ゴミ袋価格引き下げの見通しは。

A 令和3年度実施に向けて検討する。

Q 市内の医療機関でできる体制整備と市民の受ける任意検査費用への補助について伺う。

A 塩田病院で検査できる体制が整備される。任意検査への補助は考えていない。



勝浦荒川線の危険箇所



佐藤啓史議員

法定外目的税について

Q コロナ禍により来年度以降、本市の財政状況は厳しくなると予想される。そこで本市の税収をアップするために法定外目的税の導入を検討すべきと考えるが市の見解は？

A 法定外目的税は有効な手段の1つであると考えており、調査・検討を進めたい。

Q 観光振興と環境保護の面からの海岸保全と水産振興の面からの水産資源と磯根の保護を目的に法定外目的税の導入を提案するが市の見解は？

A 本市における影響及び効果等について考慮しつつ、検証する必要があると考える。

法定外普通税について

Q 熱海市で導入している別荘等所有税を参考に、本市でも法定外普通税について検討すべきと提案するが市の見解は？

A 法定外普通税は有効な手法の1つと考える。導入における影響及び効果等について調査・検討を進めたい。

企業版ふるさと納税について

Q 持続可能な自治体運営を遂行していくためには企業版ふるさと納税を活用した事業展開をすべき時期にあると考えるが市の見解は？

A 本市では「かつら観光プラットフォーム事業」が企業版ふるさと納税の対象事業であり、今年度200万円の納税を予定している。来年度以降は、本市とのパートナーシップ構築による新

たな事業展開や、SDG S達成に対する取組事業など企業メリットを幅広く周知し、寄附企業の募集を行いたい。

地域おこし協力隊について

Q 現在2名の方が地域おこし協力隊として活動されているが市の評価は？

A 2名の活動について高く評価しており、今後の活動に非常に期待している。

Q 農林水産業、商工業などの地場産業の育成や移住定住の促進、有害鳥獣対策などの他分野での地域おこし協力隊の募集について市の見解は？

A 来年度から移住・定住促進担当、DMO推進担当、農業分野での振興担当での募集を検討している。



戸坂健一議員

コロナ禍における現役世代・氷河期世代支援策について

Q コロナ禍にあつて、働く現役世代は収入減や雇用の不安定化により将来への大きな不安を抱えており、自殺者数も激増している。持続可能な勝浦市を作るためにも、今こそ現役世代、特に、就職氷河期世代への支援策が必要だ。若者の家賃負担を軽減し、移住定住を推進するための支援策の拡充を図るべきではと考えるが、市のお考えは。

A 来年度に向けて市独自の移住定住支援制度の要件緩和を検討する。

Q 現在市では低所得者向けの市営住宅を運営しているが、働く現役世代支援を目的とした若者向け雇用促進住宅を、早急

に整備する必要があると考えるが如何か。

A 若者の働く場や住環境の充実重要であると認識している。ただし、財政事情や民業とのバランスもあるため官民連携した整備が必要と考える。

Q 困窮する就職氷河期世代への支援策についてはどう考えるか。また、市職員の募集について氷河期世代を対象とした募集を実施してはどうか。

A 氷河期世代支援策が大事であることは認識しているが、千葉県の動向を見極めながら、足りないところを補足していく。氷河期世代を対象とした職員募集については、新たな行政需要に対し専門技術や知識を有する方を任期付職員として採用する事が効果的な場合などは、氷河期世代を含めた年齢要件を定めて募集することを検討したい。

藻場の保全と食害対策について

Q 外房海域には、約2千3百ヘクタールの藻場が広がっており、魚介類の餌場や漁場として重要な役割を果たしている。しかし近年、ブダイ類の繁殖などにより一部食害も確認されている。磯根の保全のためにも、食害の原因となるブダイ類捕獲の際の漁業者支援策を考えてはどうか。

A 市単独での補助制度を作ることは難しいが、国や県の補助制度の活用、水産事務所が実施する事業への参画などにより漁業者を支援していきたい。



海岸に打ち上げられたカジメ類の回収の様子



渡辺ヒロ子議員

朝市活性化における検討課題の進捗状況について

Q 朝市活性化について、出店者を増やす取り組みの現況と、設備の拡充について進捗状況を伺う。

A 出店者の増加については、マルシェ出店者から朝市への登録もあり一定の効果を上げている。設備の拡充については、来年度予算で対応を検討し、関係者と継続的に協議していく。

Q 朝市の魅力を出す飲食や海産物の店を増やす努力、市内業者等との協力体制についてはどうか。

A 月に1回『朝空マーケット』をマルシェと同時間催し、商店街と連携して盛り上げていく。

Q 設備の拡充は朝市の利便性に直結する。テン

トの設置や朝市ルートの見直し等の進捗状況はどうか？

A 設備の拡充・朝市ルートの見直しについては、週に1回程度、朝市関係者と集まり実現に向けて協議している。

Q 役員だけではなく、広く声を集めてほしいという声がある。行政という公平な立場からのヒアリング調査やリーダーシップが必要だと思うがどうか？

A 行政としても色々な声に対応していきたい。

市内観光の活性化と整備

Q 域内観光地の景観整備、既存観光の再生および新しい観光地の創設、市内観光用の巡回バスについて伺う。

A 景観整備については、年2回の除草と清掃業務を実施。眺望を阻害する樹木の剪定も考えている。既存観光の再生と新

しい観光の創設については、着地型観光の推進と、眺望が良い景勝地にペルを設置し、SNSを活用した観光戦略を図っていく。市内観光用の巡回バスについては、旅行者や市民生活ニーズを捉え検討していく。

Q 地域経済を活性化し、市民の生活を守るためにも観光に注力する必要がある。観光客の滞在時間を長くするための努力として整備作業や、駐車場情報発信や巡回バスなどのPR活動の必要性を考えるがどうか？

A 予算をつけて関係者と協議しながら出来るところから整備していく。



寺尾重雄議員

ふるさと納税について

Q 平成20年より始まった「ふるさと納税」ですが、現在までの勝浦市の状況をお伺いします。

A 平成20年から昨年度までの寄附件数は、23万4千629件、金額が53億8千万円となっています。反対に勝浦市民が市外にふるさと納税をしている直近5年分の合計は、907人、6千591万円です。これに伴う市民税の影響額は5年間で2千866万円です。

Q ふるさと納税の取扱手数料の件ですが、「さとふる」に4%払われていますが、勝浦市単体で出来ないのかお伺いします。

A お礼品発注・在庫管理・配送手配は「さと

ふる」です。「さとふる」は全国展開をしており、勝浦市特有でなく他の市町村でも4%の支払いをしています。勝浦市単体でやるのが良いか検討していますが、現在は「さとふる」が有効であると考えています。

Q ふるさと納税のお礼品の生産者の登録に関してお伺いします。

A 寄附者に贈呈している特産品のお礼品は、12月現在で取扱業者30件、122品目となっています。お礼品の登録は、今後、広報へ募集記事を掲載するなど魅力ある品につなげていきたいと考えています。

松部漁港・勝浦東部漁港工事の入札について

Q 松部漁港・勝浦東部漁港（豊浜地区）及び串浜漁港の工事入札が不調となつていますが、勝浦市の考えをお伺いします。

A 工事の入札不調が

ずっと続いている状況ですが、水産業は基幹産業であり、直せないというところに一番苦悩している。現場をよく見ているが、どんどん壊れ、危険な箇所が増えていく状況なので打開しなければならぬと考えています。

Q 不調続きの理由は色々でしょうが、今後の対応に関してお伺いします。

A 勝浦の漁港を維持するためには、県の力を借りて改善を図る。この思いしかない状況です。今後は、設計価格の上積みや新たな工法などを研究し、県にその分を認めてもらい、上乘せをしてもらう動きをしたいと思っています。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 1年
忍足 瑠晟 さん
おしだり るい

僕の将来の夢は、ITエンジニアになることです。今の社会では、仕事をするのにも、生活をするのにもインターネットが必要不可欠になってきています。インターネットは世界中の人と繋がることができ、とても便利ですが、それを悪用して人をだます人もいます。僕は、一人一人が今以上に安心して安全にインターネットを利用できる世の中を作っていきたいと思っています。そのためには、さまざまな分野の知識が必要なので、今から勉強に集中して取り組んでいきたいです。

議会のうごきについて報告します (令和2年11月～令和3年1月)

議会のうごき

11月2日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会 (千葉市)	17日	本会議 最終日 議会運営委員会・議会表彰選考委員会 議会報編集委員会・議会改革検討委員会
5日	議会報編集委員会	21日	観光商工審議会
17日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (千葉市)	22日	介護保険運営協議会
18日	夷隅郡市負担金審議特別委員会 (いすみ市)	23日	勝浦市芸術文化交流センター運営協議会
	学校給食共同調理場運営委員会	24日	総合開発審議会
19日	市政懇談会		
24日	議会運営委員会	令和3年	
27日	11月臨時会	1月8日	交通安全祈願祭 (遠見岬神社)
	全員説明会・全員協議会	18日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会視察 研修会 (オンライン)
30日	夷隅郡市広域市町村圏議会臨時会 (いすみ市)	22日	議会改革検討委員会 観光振興議員連盟役員会
12月2日	議会運営委員会	25日	議会運営委員会・議会表彰選考委員会
7日	本会議 初日	26日	千葉県市議会議長会研修会 (オンライン)
9日	本会議 一般質問	28日	介護保険運営協議会
10日	本会議 一般質問		
11日	本会議 質疑		
14日	総務文教常任委員会		
15日	産業厚生常任委員会		

編集後記

「みんなのギカイ第176号」の編集、1都3県に2回目の緊急事態宣言が発出されました。特集ページの取材方法も対談方式から書面による質問形式に変更をさせていただきました。今後はリモートの活用も視野に、これからの編集に活かしたいと思います。委員会一同、より見やすい、わかりやすい紙面を目指してまいります。

議会報編集委員会 副委員長 久我 恵子

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!



勝浦カッピー